

事業説明会 開催ご挨拶

戦略本部長
牧 謙

2019年6月11日/12日
古河電気工業株式会社

将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況、ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、例として以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- ・米国、欧州、日本その他のアジア諸国の経済情勢、特に個人消費及び企業による設備投資の動向
- ・米ドル、ユーロ、アジア諸国の各通貨の為替相場の変動
- ・急速な技術革新と当社グループの対応能力
- ・財務的、経営的、環境的な諸前提の変動
- ・諸外国による現在及び将来の貿易規制等
- ・当社グループが所有する有価証券等の時価の変動

従いまして、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは大きく異なる場合があることをご承知おき下さい。なお、当社グループは、この資料の本リリース後においても、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。

著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、古河電気工業株式会社に帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

古河電気工業株式会社

	2018年度 実績	2019年度 予想		2020年度 中計目標
営業利益	408億円	400億円		550億円 以上
当期純利益	291億円	210億円		300億円 以上
NET D/Eレシオ	0.81	0.8		<0.8
自己資本比率	30.3%	31%		>30%
ROE	12.0%	8%		>10%
事業資産 営業利益率	11.2%	11%		10%以上

事業統括部門	方針
情報通信 ソリューション	<p><u>5Gの進展を見据えたグローバルな事業拡大</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報通信インフラの高速・大容量化に対応する製品群・サービスの開発と拡販の推進
エネルギーインフラ	<p><u>再エネに対応する系統線整備・強靱化、連携線増強に貢献するための事業基盤確立</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・電力事業はセグメントを絞って特定分野に注力し、2019年度黒字化を目指す
電装エレクトロニクス	<p><u>素材と部品のシナジー効果で事業拡大</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・“CASE”の進展に当社独自の価値を提供 ・製品ミックス改善とものづくり力向上による収益性改善
機能製品	<p><u>お客様との共創を図り、常にソリューションを提供</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・データセンターを含むエレクトロニクス市場において、差別化された高付加価値品による収益拡大 ・樹脂技術を基盤にした製品開発で、社会環境の変化に合ったソリューションを提供

本日の登壇者

事業統括部門	事業部門	役職		
情報通信 ソリューション	ファイバ・ケーブル ファイテル製品 ブロードバンドソリューション	取締役 兼 執行役員専務	木村 隆秀	
エネルギーインフラ	電力 産業電線・機器	取締役 兼 執行役員専務	小塚 崇光	
電装エレクトロニクス	自動車部品 導電材 巻線 銅条・高機能材 銅管	執行役員専務 執行役員	川口 寛	
			阿部 茂信	
機能製品	AT・機能樹脂 サーマル・電子部品 メモリーディスク 銅箔	執行役員常務	大野 良次	
		取締役 兼 執行役員 執行役員	牧 謙 福永 彰宏	 